

事業計画書

事業名	好きを仕事にするための旅路！エンタメ×キャリア教育
実施場所	沼津市内の小中学校
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 2025 年 9 月 18 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

◎事業概要

※事業の概要を 100～200 字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

沼津市内の小・中学校に、エンターテインメント業界の第一線で活躍する方をお招きしてキャリア教育の授業を実施。ネットの普及により、より身近となったエンターテインメント業界に関わる方の経験談を聞くことで、“好き”を仕事にする可能性とそれらに必要な努力、困難を乗り越えるための忍耐力の必要性を説き、児童のキャリア形成意識の醸成を促す。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

社会的背景・地域の課題

2024 年に行われた第 14 回 21 世紀出生児縦断調査（対象：全国の平成 22 年出生児 20295 名）の将来に関する質問において、「具体的にはまだ考えていない」を選択した児童は約 33.6%であった。この結果は、比較対象である 2015 年実施の第 14 回（対象：全国の平成 13 年出生児 29506 名）の約 28.2%を上回る結果である。文部科学省が発表しているキャリア教育の手引きによると、中学生期におけるキャリア発達課題は、「現実的探索と暫定的選択」である事と、小学生期にキャリア教育を通して身につけさせたい力は「一人一人の児童が、卒業まで（あるいは、学年末まで）の見通しをもち、「なりたい自分」を明確にし、その実現に向かって努力することができるようになる事であった。この数年で将来に対する具体的な目標やビジョンを持っていない児童の割合は増加傾向にある事から、全国の教育現場において十分なキャリア教育が実施されていない可能性が考えられる。

また、沼津市教育基本構想の教育を取り巻く課題項目ア「子供と若者を巡る課題」において、自然や芸術文化を体験する機会が限られていることなど、子供たちが「豊かな体験を」する機会が減少し、知的好奇心の源泉でもある体験が不足。学校、家庭、地域が相互に連携し、体験を通じて、学習意欲や知識・技能を活用する力、コミュニケーション能力の向上を図っていく学習の充実が求められていると記載されている。

昨今問われている学校職員の多忙な労働環境もキャリア教育実施不足の要因の一つと考え、我々は地域の団体が独自の「つながり」を活用し、キャリア教育を実施していく必要があると考える。

実施する意義

①“好き”を仕事にする可能性の発見

興味や好きなこと、情熱を傾けられるものが、将来の職業に繋がり得るという具体例を得られ、自己の興味が自己実現の道となる可能性を早期に認識するきっかけ作りの場を提供。

②目標設定と努力の重要性の理解

困難を乗り越えてきた経験談を聞くことで、目標を持つことの重要性、主体的な行動力と忍耐力を育む意識を形成。

③コミュニケーション能力と共感力の育成

多種多様な業種と関わりを持ってプロジェクトを進めている業種である事を伝え、コミュニケーションの重要性を説く。どの業種でも人間関係を円滑にし、コミュニケーション基礎力が必要である事を認識させる。

④沼津市の未来を担う子どもたちへの投資

沼津市の子どもたちが自身の可能性を広げ、夢を持つきっかけを提供し、人材育成の面で地域の発展に貢献。

⑤教育先進都市としてのイメージ向上

県外・市外の団体を招く積極的な教育投資を行うことで、沼津市内の教育に対する熱心な姿勢を県内外にアピール。将来に向けた教育都市としてのイメージアップを図る。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
25 年 9 月 ～25 年 10 月上旬	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12 月 31 日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。 協力団体への正式な協力依頼。登壇候補者の決定とスケジュール確認 教育委員会への正式な協力依頼。小中学校への交渉。
25 年 10 月下旬	受け入れ校の決定、登壇者決定と正式なオファー
25 年 11 月 ～25 年 12 月	授業内容の構築、協力団体・登壇者との授業内容のすり合わせ、事前準備
26 年 1 月下旬 ～2 月上旬	授業の実施
26 年 2 月下旬	アンケートの回収と集計、分析
26 年 3 月	各方面への実施報告書作成

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

児童視点

- ・好きな事・興味関心のある事を仕事にする可能性の発見
- ・主体的な目標設定・努力の重要性の理解
- ・困難に直面した際の忍耐力の必要性の理解

地域視点

- ・教育先進都市としてのイメージ向上

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。 児童の理解度 →授業満足度 90%以上、授業の理解度 90%以上、次回の実施希望 90%以上 教職員・教育関係者からの実施理解 →次回の実施希望 90%以上	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。 ・実施後アンケートにて数値化
-------------	--	---------------------	--

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的 必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。 沼津市教育基本構想の教育を取り巻く課題項目ア「子供と若者を巡る課題」において、子供たちが「豊かな体験を」する機会が減少し、知的好奇心の源泉でもある体験が不足と記載されている。今回の授業において、講師との出会い、講和などの体験で知的好奇心を高め、興味や好きなこと、情熱を傾けられるものが、将来の職業に繋がり得るという具体例を知るきっかけとなる。 また、児童が早期にキャリアを考える意識を持つ事は、目的に向かって能動的に行動する能力と態度を育て、社会的自立・職業的自立に繋がる。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。 沼津市は映画のロケーション地、アニメコンテンツの聖地、年間多数のイベントの開催などエンターテインメントの文化が根付いた街である。土壌がある中で、エンタメ文化とキャリア教育を組み合わせることは、その街独自の教育モデルとしての独自性を高め、付加価値を生み出す事へ繋がる。
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。 当団体はこれまで市外をターゲットに、沼津市内の労働人口増加や多様な人材の増加に寄与する活動を行ってきた経緯がある。一方で既にこの地域に住み将来沼津市内で働く可能性がある次世代へのアプローチが不足していた事が判明。これを機に我々は「地域社会に出る前でのキャリア観形成」を促進する活動にシフト。従来のような「職業講和」を実施するのではなく、「好きな事・興味関心のある事を仕事にする可能性の発見」「主体的な目標設定・努力の重要性の理解」「困難に直面した際の忍耐力の必要性の理解」の三つを主軸とすることで、沼津市の児童が自身の可能性を広げ、人材育成の面で地域の発展に貢献。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 本企画の実施にあたって、団体設立時から自団体のイベント企画や大型イベントへの協力で培ってきたノウハウ、コネクションを活用できるため、スケジュール面、関係者との調整、各種交渉などのコミュニケーションも問題ない。
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。 今後、少子化による人材不足が加速するため、社会においては1人1人の目的意識の高さ、経験と能力が求められる。児童に対して早期にキャリア教育を実施することで人生の目的と価値を自ら見だし、能動的に行動することの積み重ねが社会で活躍する人材への成長に繋がる。資金面においては人材育成に関する企業や教育事業との連携を視野に、持続可能なものにすることが可能。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

初年度は、「児童にとって身近・興味を持ちやすい」という観点で、エンターテインメント業界の第一線で活躍する方をお招きするが、2年目は初年度と同時並行で市内を拠点に日本中で活躍する企業の人材へのアプローチ、3年目は海外にも拠点のある企業への人材へアプローチを検討する。また、職業体験を主とした大型イベントも開催・誘致できるよう地域内外の企業へのPRも実施していく予定。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。